

2024年度 県外生協産地訪問見学学習会開催報告

- ◇日時 2024年10月28日(月)～30日(水) 3日間
- ◇場所 北海道大学生協、コープさっぽろ、食品企業2社
- ◇目的
 - ①北海道大学生協の進める再生3ヶ年計画を現地現物で学び、事業運営に役立てる
 - ②北海道の生活インフラとして発展するコープさっぽろの取り組みの考え方を学び、新たな事業展開のヒントを得る
 - ③生協で取り扱う食品企業を訪問し、商品づくりの拘り、品質管理の状況などを確認、知識向上を図る

◇参加者 14名

トヨタ2名、コープあいち2名、かりや愛知中央1名、愛知県職員1名、トヨタ車体1名、愛知県警察職員1名、南医療1名、名古屋大学消費1名、名古屋工業大学1名、生活クラブ2名、県連1名



◇生協・産地訪問見学学習会行程

| 月日 | 地区名 | 時間 | 内容 |
|--------------|-------------------------------|--|--|
| 10/28 (月) | 北海道 札幌市 | 8:40 14:00 18:00 | 名古屋→北海道 北海道大学生協食堂・店舗視察 情報交流会(北海道大学生協様) |
| 10/29 (火) | 北海道 余市郡 札幌市 | 8:45 10:00 14:30 16:00 18:30 | 移動 ニッカウヰスキー余市蒸留所視察 コープさっぽろ 札幌中央センター視察 * 宅配センター・トドックステーション コープさっぽろ そうえん店視察 * 店舗(約400坪)、無印良品 情報交流会(コープさっぽろ様) |
| 10/30 (水) | 北海道 札幌市 北広島市 愛知県 | 8:45 9:15 11:30 13:00 18:45 | 移動 コープさっぽろ 本部事務所 * 大見理事長 座学 コープさっぽろ きたひろしま店視察 * 店舗(約700坪)、無印良品、 トドックステーション 日本ハムボールパーク直営店舗視察 中部国際空港着、解散 |

◆ 北海道大学生協

・大学事業連合でメニューを共有

・大学内競合店
「セイコーマート」
「セブンイレブン」

● 概要

- ▶ 1947年6月北大協同組合として設立、1957年総会にて法人化、北海道大学生協同組合に改める(組合員数約27千人)
- ▶ 12学部すべてに店舗を展開(12店舗)、食堂は8店舗
- ▶ 北大生協再生三ヶ年計画の取り組みを学び、意見交流を図った

・書籍の損益改善は事業課題のひとつ

・意見交流
食堂価格の一般客との価格差
北大のブランド活用(グッズ・お土産等)

◆ コープさっぽろ 札幌中央センター

・お届けは80件/日、ケース単位での注文も多い

●概要(宅配全体)

- ▶ 宅配事業高1,124億円、会員47.6千人、車両1,350台、従業員数2,600名
- ▶ 常時2万品目、51事業所で全道をカバー⇒買い物困難者に対応

◆ コープさっぽろ そうえん店

●概要(そうえん店、売場面積400坪)

- ▶ 年間供給高約15億円、2階テナントに無印良品が出店
- ▶ 店内調理の惣菜、PBスイーツ、離乳食・幼児食の取り揃え拡大

◆ コープさっぽろ きたひろしま店



- 概要(きたひろしま店、売場面積700坪)
- ▶ 年間供給高約20億円、テナント無印良品出店、子育て交流施設併設
- ▶ 規格外野菜(食品ロス)、冷凍商品、店内調理惣菜、PBスイーツなど

◆ コープさっぽろ 大見理事長座学



- 「逆境を味方にする新時代経営」
- ▶ 経営危機をリストラ断行により脱出した取組み、組織風土改革を学ぶ
- ▶ この10年で実現した社会貢献⇒北海道への貢献事業拡大
リサイクル事業、子育て支援、買物困難者・生活困窮者支援などなど

◇ ニッカウイスキー余市蒸留所



- 重要文化財の見学など地元産業の発展の歴史を学ぶ
- ▶大麦の乾燥から蒸溜、製樽、貯蔵までウイスキー造りの工程を見学
- ▶商品づくりの拘りや品質管理などについて専門員が説明



◇ 日本ハム直営店



今回の学習会では、北大生協・コープさっぽろの取り組みを通し、各生協が事業運営の進め方を考える機会となりました